

日時:2019年6月14日(金) 13:00~17:00

場所:岩手県工業技術センター

主催:(株)TOLICマネジメント

後援:岩手大学、盛岡市、岩手県工業技術センター、東北経済産業局、北東北ナノメディカルクラスター研究会、いわて産業振興センター、盛岡工業クラブ、INSいわてコーディネート研究会、東北CAE懇話会

◆テーマ

「北東北のライフサイエンス事業の融合を目指して！」

◆挨拶

東北経済産業局 地域経済部長 蘆田 和也氏

◆講演 13:10~15:10

「外科、病理、R-IHCそして北東北ナノメディカルクラスター研究会」

秋田大学医学部附属病院病理診断科・病理部 教授 南條 博氏

秋田大学腫瘍制御医学系胸部外科学講座 教授 南谷 佳弘氏

秋田県産業技術センター 所長 赤上 陽一氏、主任研究員 中村 竜太氏

医師として30年余り、昭和の終わりから平成という時代を歩んできた。医療技術の進歩は著しく、医師になった時は施行されてなかった生体肝移植、内視鏡手術、ナビゲーション手術、ロボット手術などが標準治療となった。がんの薬物療法においても化学療法とともに分子標的治療、免疫チェックポイント阻害剤、プレシジョンメディスンが導入され、またiPS細胞や骨髄幹細胞による治療、AIの導入も始まり、加速度的に医療の変革が進むだろう。このような状況下で、私ができることは非常に限られているが、外科、病理、R-IHCを開発した工学者の先生方、北東北ナノメディカルクラスター研究会に参加してくださる企業、大学、国や県のみならずと力を合わせ、新たな課題を克服し、精密な外科手術、がん治療の個別化に対応すべく、新たな医療機器、医療技術を開発し、成果を日本のみならず世界の臨床医と患者さまに還元したいと考えている。

「2千項目健康ビッグデータで寿命革命実現をめざす」

弘前大学COI研究推進機構・教授/COI副拠点長(戦略統括) 村下 公一氏

弘前大学COI拠点は、巨大な産学官民連携チームで「寿命革命」をコンセプトに健康長寿社会実現をめざす。最大の強みは14年間に及ぶ健康人の超多項目(2000)健康ビッグデータの存在。地域・職域・学校をターゲットにSociety5.0時代における、市民をも巻き込んだ新ヘルスケア地域社会モデルを追求する最前線での取組を紹介する。

◆話題提供 15:30~16:30

・新会社「TOLICマネジメント」設立について

(株)TOLICマネジメント 代表取締役 片野 友貴氏

・ヘルスケア産業集積拠点整備計画について

岩手県工業技術センター 副理事長 黒澤 芳明氏

・地域創生推進交付金について

盛岡市商工観光部ものづくり推進課主幹 兼 立地創業支援室長 高橋 博文氏

・「INSグローバル産業戦略研究会」発足について

研究会長 兼 セルスペクト(株)代表取締役 岩渕 拓也氏

◆各企業・各機関より近況報告 16:30~17:00

セルスペクト(株)、(株)アイカムス・ラボ、(株)TOLIMS、(株)パターンアート研究所、
(株)ライフサポート研究所、安特許商標事務所 他

◆懇親会 18:00~ ホテルメトロポリタン盛岡本館 姫神の間 会費5,000円